

第3回大多喜町動画コンテスト

受賞者インタビュー

優秀賞 「わたしの大好きなまち 大多喜町」 Kenkentavel = 神奈川県



https://youtu.be/9TaA_xS5rfc

優秀賞をいただき、大変光栄です。動画を喜んでくださる方がたくさんいて、今後も動画を制作する励みになりました。僕は「出会ったことのない人々、景色、文化に触れる」ことをモットーに国内外の秘境を中心に旅を続け、2018年からはライフワークとしてYouTubeチャンネル「Kenkentavel」で旅の記録を発信しています。地方創生もやってみたいことの一つで、今回その思いがひとつ叶いました。まだあまり知られていない素敵な場所が日本にも海外にも沢山ありますが、動画にはそれらを伝える役割があると思っています。

大多喜町動画コンテストを知ったのは偶然でした。千葉県には魅力的な場所が多いので、ここ数年あちこち巡っていました。その一環で、県内の情報収集をしているときに、動画コンテストのことを知りました。調べてみると、養老溪谷や本多忠勝など魅力的な場所がたくさんあることを知り、「巡りながら撮影して、応募してみようか」と妻(作品中では旅する主人公)と話し、撮影の計画を立てました。

大多喜町に来てみると、自然が豊かで、魅力的な建築物なども沢山あり、撮影場所を追加していきました。作品中に含まれていない場所 — 豊乃鶴酒造、大多喜小学校などでも撮影しています。コンテストでは3分間という制約があったため、「人、歴史、文化、自然」を感じられる映像を中心に選びました。

今回の作品ではセリフや説明は一切入れず、「主人公の表情や動き」と「その場所の映像」だけで魅力を伝えています。皆さんが主人公と一緒に旅をする、その場所に実際にいるような感覚や気分になって動画を楽しんでいただけたら嬉しいです。それが結果的に、その場所に行ってみた、実際に見てみたいという気持ちにつながると思います。

今回訪れたなかで、いちばん印象に残っているのは「もみの木庵」(旧会所分校)です。手打ちそばを作る大変さを体験してわかりました。教えてくださった方は気さくな地元の方でしたが、「職人さん」の心意気を感じました。蕎麦もみなさんで栽培されているそうです。受賞後はお店の方に「動画を観ました」とメールをいただきました。喜んでいただき大変嬉しいです。そばはとても美味しかったのでまた食べに行きたいです。動画を観て、そば打ちをやってみたいという方が増えたら嬉しいです。

麻綿原高原の妙法生寺では、一面に咲き誇るあじさいと寺内に飾られている前向きになれる言葉に癒されました。大多喜城は町のシンボルなので、森も映像に入るようにドローンを飛ばす工夫をしました。城下の釜屋ではスタッフの方が昔ながらの雨戸を下ろして見せてくれました。

撮影で一番苦労したのは、大多喜城といすみ鉄道を上空から撮るシーン(作品の冒頭)です。三口橋から見える鉄橋を列車が横切るタイミングで、ドローンは垂直に前に出していこうと構想していましたが、列車が茂みから出てくるタイミングがわからず、ドローンをずっと待機させていました。「列車の音が聞こえてきたぞ！じゃあドローンを前に出そう！！」といった感じで撮影しました。

この作品を特に観ていただきたいのは「地元の方々」です。その場所に住んでいる方々は、地元の魅力に気がつかないことも多いので、動画を観て地元の魅力を再発見されたり、「こんなにいいところなんだ！」と感じてもらえたら嬉しいです。そして「旅する人々」にも観ていただきたいです。千葉県といえば海のイメージが強いですが、内陸の歴史と文化がある大多喜町を知って、ぜひ訪れてみてほしいと思います。

今後の夢は「みんなが知らないもの」を掘り起こし、伝えていきたいです。特に日本では、「人」の魅力をもっともっと伝えたいです。職人さんの生きざまとか、文化などにスポットライトをあてながら撮影し、動画を制作して発信していきたいです。

動画コンテストの応募を検討している方たちには、「まず一度訪れてみてください」と伝えたいです。その場で感じたものを撮影していけば、きっとそのまま作品になると思います。

取材 商工観光課 交流促進係 電話 0470-82-2176

大多喜町公式 Youtube で他の作品もご覧いただけます。
※受賞作品、開催回ごとの再生リストになっています。
<https://www.youtube.com/@user-oe6rk7br3o/playlists>



Youtube 再生リスト